

平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名 西 区
学校名 大阪市立西中学校
学校長名 山岡 良知

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語・数学）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学）

- ・主として「知識」に関する問題（A問題）
- ・主として「活用」に関する問題（B問題）

(2) 質問紙調査

- ・生徒に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第3学年の原則として全生徒
- ・西中学校では、第3学年 94名

平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

- ・国語A・Bは、全国平均を下回ってはいるが、平均に近づきつつある結果となっている。残念がら、数学A・Bとともに、全国平均を大きく下回る結果となった。
- ・国語の授業内容の理解については、肯定的な回答が多く、しっかりと学習に取り組んでいるが、数学については、授業内容の理解不足とともに、苦手意識を持っている生徒が数多い。1日あたりの学習時間についても、依然として不十分である傾向が強く、計画を立てて勉強しない生徒についても多数いて、家庭での自主的な学習の定着が継続した大きな課題である。また、日常的な読書習慣の定着率も低く、読書習慣の形成も今後の大きな課題である。
- ・「いじめをやめるさない」といった心情については、確実に醸成されており、良好な結果を得ております、「学校の規則をしっかりと守っている」といった意識も高い。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕全体で全国平均より4.4ポイント下回っている。観点別「話す・聞く能力」「読む能力」においては平均との差は小さいが、「書く能力」「言語についての知識・理解・技能の能力」における差は大きい。「書く能力」を伸ばすために、系統的な作文指導を丁寧に時間をかけて指導する必要がある。特に漢字の読み・書きなど基礎的語彙に関する問題の正答率が低いことから、基礎的語彙の定着と語彙量の拡大を目指すためにも、読書習慣の定着や反復練習が必要であると考えられる。

〔数学〕数学A・Bともに全国平均を大きく下回っており、資料の活用においては、数学Aで、1.9ポイント下回っている。問題文をじっくりと読んで、内容をしっかりと理解することが困難な実態がある。家庭学習も十分にできていない生徒が多く、各単元における基本事項の定着を図っていく必要がある。

質問紙調査より

本校の生徒像を総括すると「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心を持ち、将来は外国へ留学したり、国際的な仕事に就きたいと考えており、学校の規則をしっかりと守り、いじめはどんな理由があってもいけないことであると捉えている生徒が多数いる。」という結果を得ている。しかし、「実際に地域社会でのボランティア活動に参加した経験のある生徒は数が少なく、読書習慣が定着していないことや、自分の考えを深めるためのグループ学習や自ら課題を立て情報収集を行う調べ学習が苦手であること」また、「家庭学習が不定着であること」については、大きな課題である。他にも、「朝食を毎日食べること」についてもポイントが低く、生活習慣の基本として学校でも継続した朝食の重要性を指導していく必要がある。

今後の取組

国語に関する質問調査の結果から、「国語が好き。国語が大切。授業が理解できる。」と感じる生徒が高い割合でいる一方、「家庭で予習・復習・宿題をする。読書する。」と答えた生徒が極端に少ない。校内での国語科の授業における言語活動にとどまらず、他教科との連携や家庭学習・読書習慣の向上に向けた取り組みをさらに充実させていく必要がある。

数学では、授業の中では基本事項が理解できいても、基本事項を利用して、応用、そして、発展させる力が、十分に身についていない。習熟度別授業の方法を検討していくうえでも、応用・発展に結びつける指導を徹底する必要がある。日常的なことを数学的思考に関連づけて、思考力を高めることや、言語活動を重視し、問題文の内容を数学的に理解する力についていく必要がある。

【 全体の概要 】

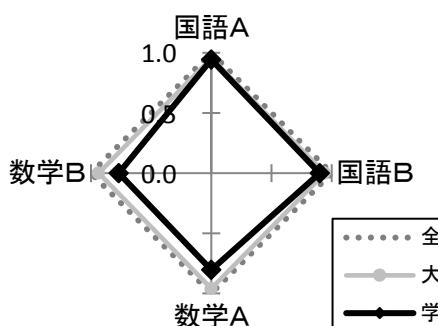
平均正答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	73	65	52	37
大阪市	74	68	62	45
全国	77.4	72.2	64.6	48.1

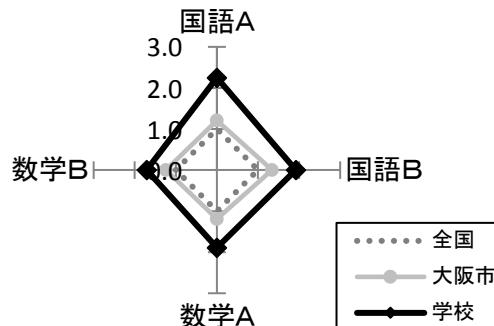
平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	5.4	7.3	11.9	20.0
大阪市	2.9	5.1	7.5	14.5
全国	2.4	3.8	6.3	11.7

平均正答率(対全国比)



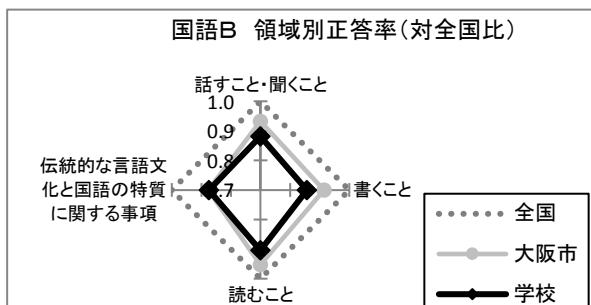
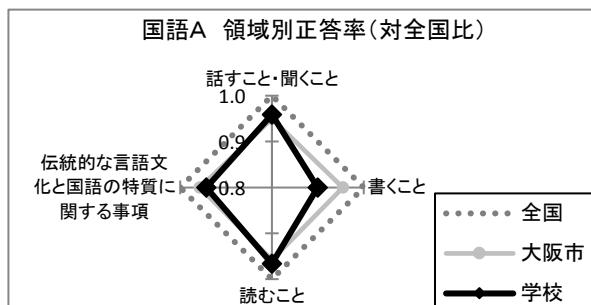
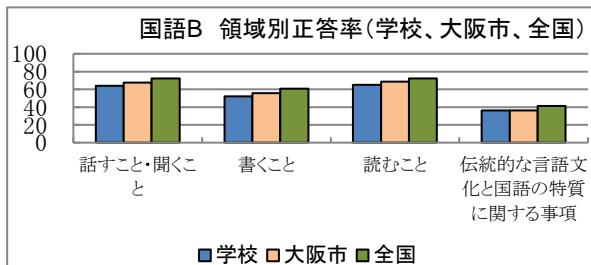
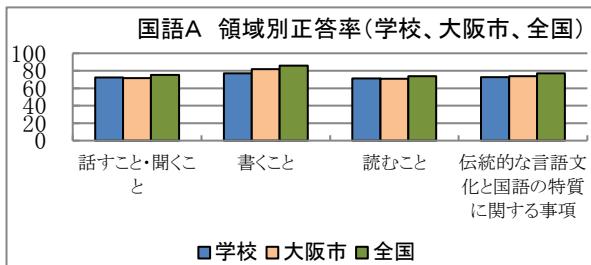
平均無解答率(対全国比)



【 国 語 】

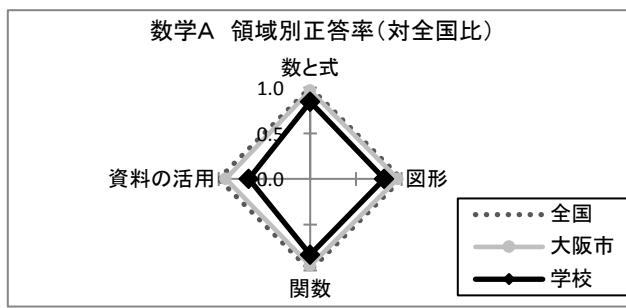
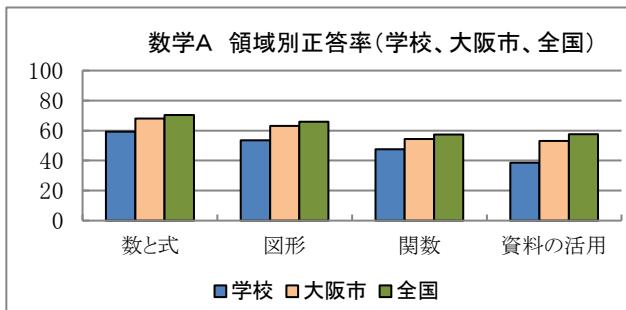
A 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	72.3	71.6
	書くこと	4	77.1	81.8
	読むこと	6	71.3	70.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	72.8	73.9

B 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	63.8	67.5
	書くこと	4	52.1	55.6
	読むこと	4	65.2	68.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	36.2	36.3

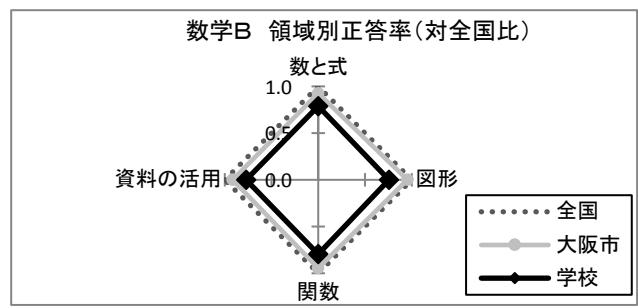
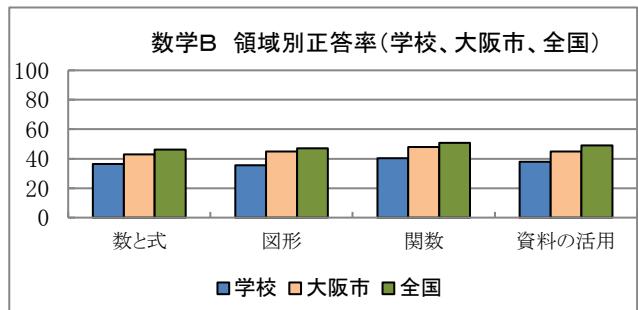


【 数 学 】

A 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と式	12	59.4	68.1
	図形	12	53.5	63.2
	関数	8	47.5	54.4
	資料の活用	4	38.6	53.1



B 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と式	3	36.5	42.9
	図形	6	35.6	44.9
	関数	3	40.4	48.0
	資料の活用	3	37.9	45.0



生徒質問紙より

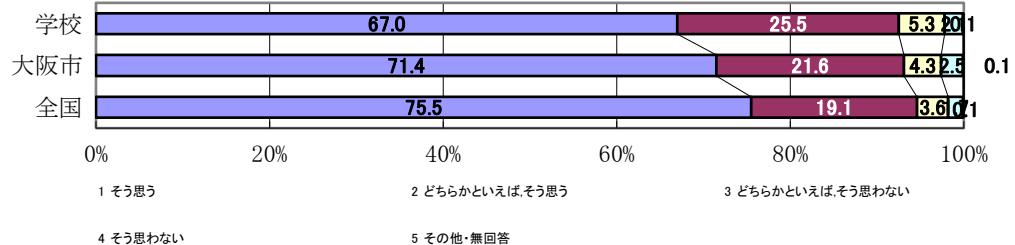
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10 ■11

質問番号

質問事項

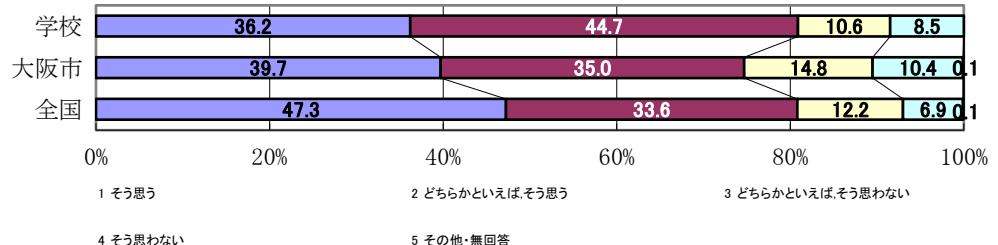
36

学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか



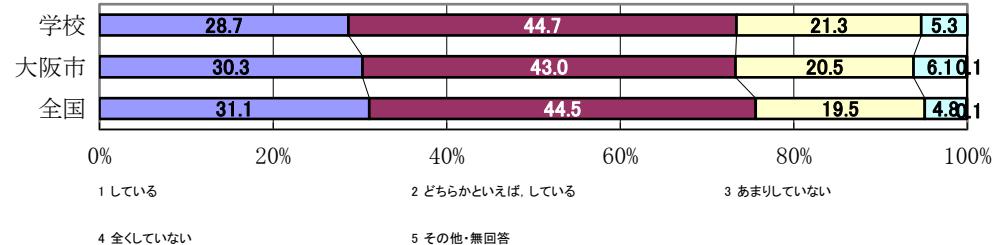
35

学校に行くのは楽しいと思いますか



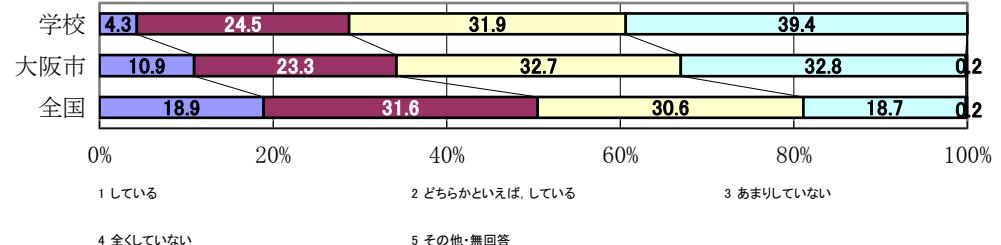
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



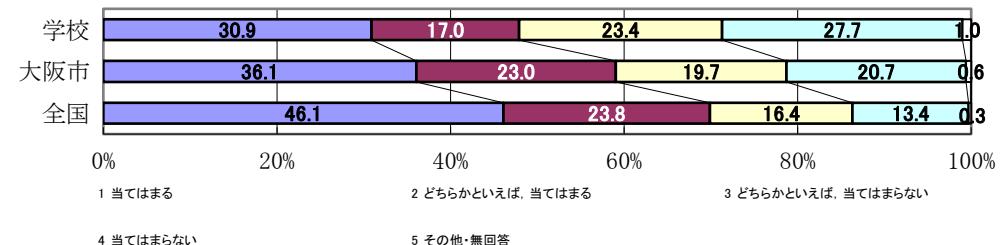
34

家で、学校の授業の復習をしていますか



74

読書は好きですか



生徒質問紙より

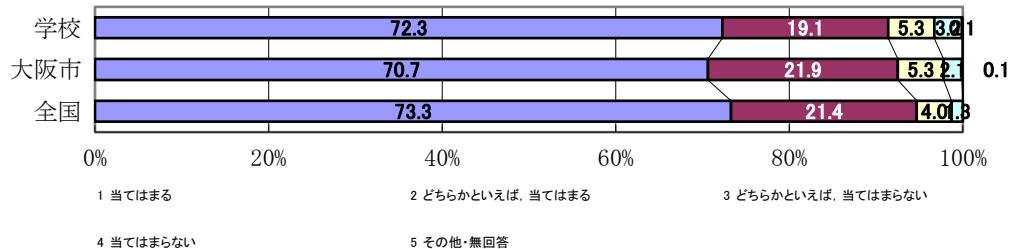
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10 ■11

質問番号

質問事項

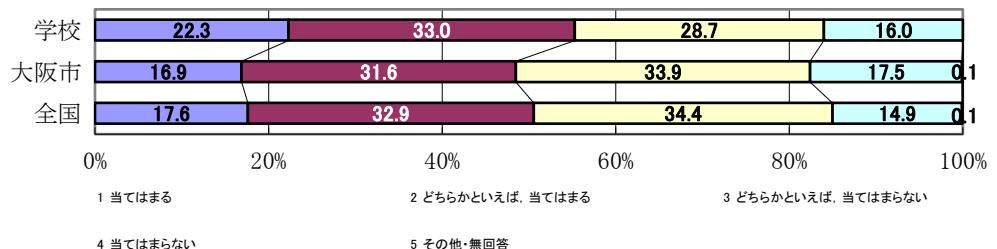
4

ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか



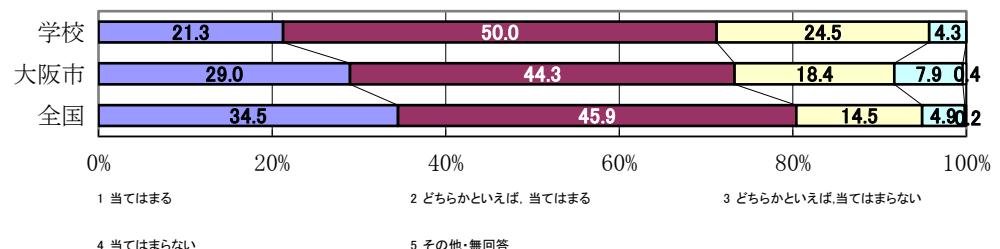
7

友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか



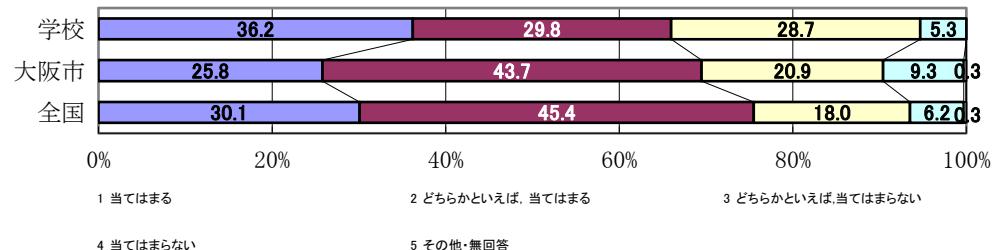
40

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



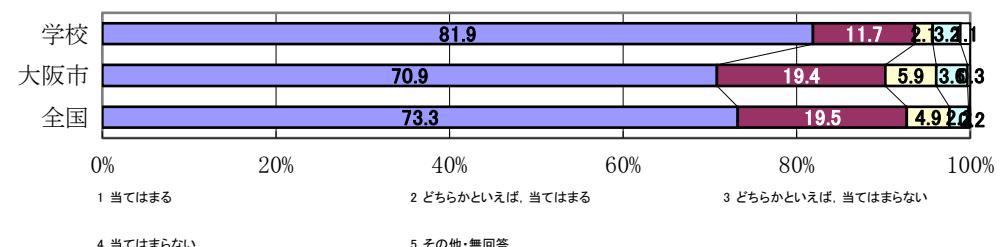
41

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか



54

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



生徒質問紙より

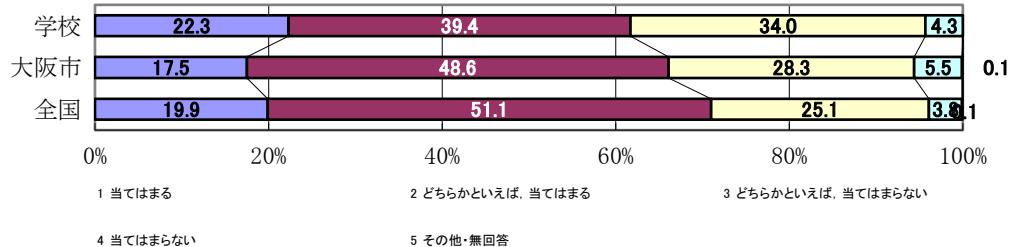
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10 ■11

質問番号

質問事項

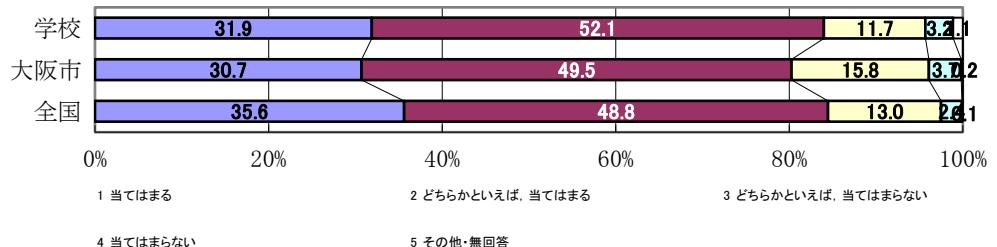
5

難しいことでも、失敗を恐れ
ないで挑戦していますか



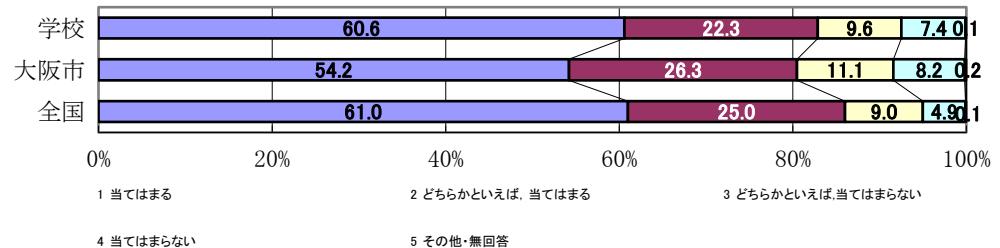
53

人が困っているときは、進
んで助けていますか



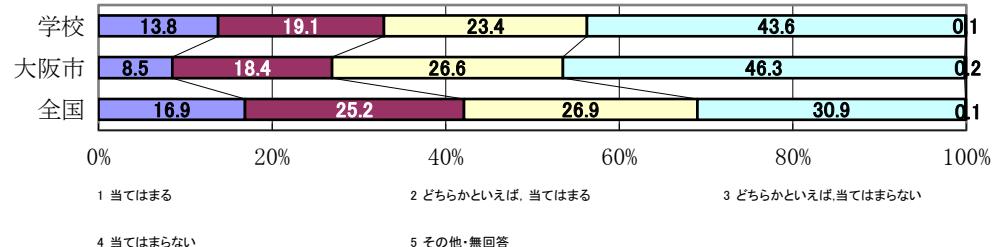
39

学級みんなで協力して何か
をやり遂げ、うれしかったこ
とがありますか



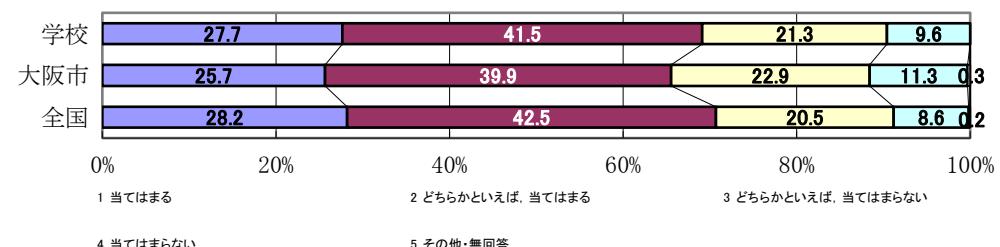
42

今住んでいる地域の行事
に参加していますか



6

自分には、よいところがある
と思いますか



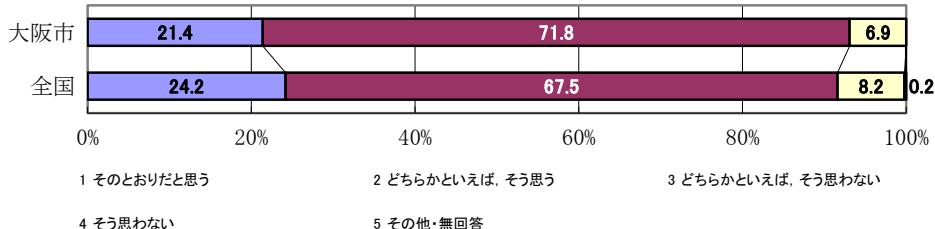
学校質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項
12

調査対象学年の生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか

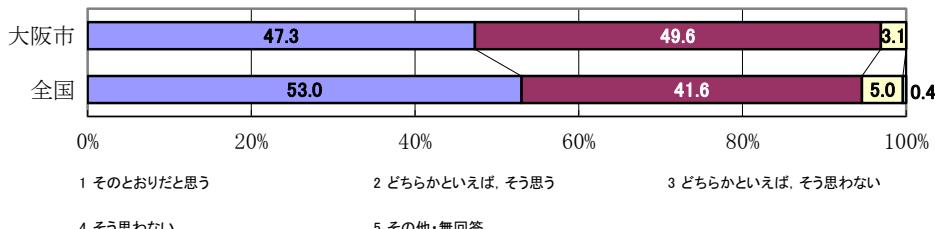
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



質問番号
13

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

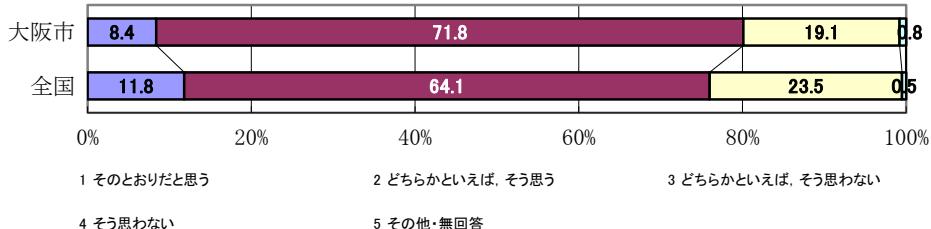
学校 「そのとおりだと思う」を選択



質問番号
15

調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができているだと思いますか

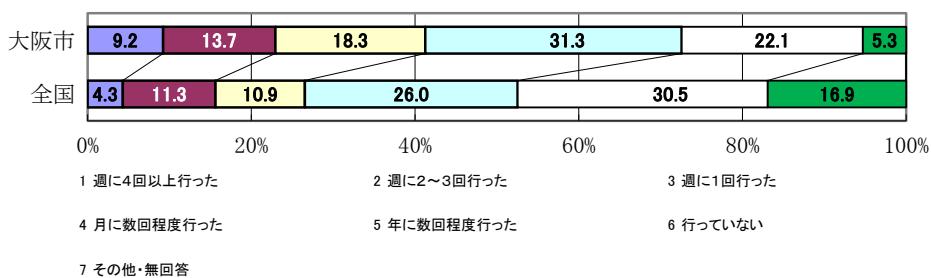
学校 「そのとおりだと思う」を選択



質問番号
23

調査対象学年の生徒に対して、前年度に、放課後を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか

学校 「週に2～3回行った」を選択



質問番号
25

調査対象学年の生徒に対して、前年度に、長期休業日を利用した補充的な学習サポートを実施しましたか(実施した日数の累計)

学校 「延べ9日から12日」を選択

